

福井県後期高齢者医療広域連合告示第15号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、平成29年4月1日から平成29年9月30日までの財政状況及び平成28年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

平成29年12月25日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 平成29年度一般会計（平成29年9月30日現在）

【歳入】 (単位：円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	450,066,000	226,902,000	50.4
2 国庫支出金	394,000	0	0.0
4 繰越金	1,000	36,373,301	3637330.1
5 諸収入	55,000	20	0.0
合計	450,516,000	263,275,321	58.4

【歳出】 (単位：円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,526,000	52,028	3.4
2 総務費	157,135,000	72,904,932	46.4
3 民生費	289,854,000	0	0.0
4 諸支出金	1,000	0	0.0
5 予備費	2,000,000	0	0.0
合計	450,516,000	72,956,960	16.2

(2) 平成29年度後期高齢者医療特別会計（平成29年9月30日現在）

【歳入】

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	16,773,430,000	6,467,089,770	38.6
2 国庫支出金	34,774,561,000	20,468,676,000	58.9
3 県支出金	8,661,551,000	5,333,334,000	61.6
4 支払基金交付金	41,749,293,000	17,930,583,000	42.9
5 特別高額医療費共同事業交付金	21,787,000	0	0.0
6 財産収入	867,000	106,766	12.3
8 繰入金	1,128,613,000	0	0.0
9 繰越金	1,000	1,896,091,657	189609165.7
11 諸収入	935,000	94,841,607	10143.5
合計	103,111,038,000	52,190,722,800	50.6

【歳出】

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	353,866,000	152,560,014	43.1
2 保険給付費	102,389,196,000	42,717,624,432	41.7
3 県財政安定化基金拠出金	39,863,000	0	0.0
4 特別高額医療費共同事業拠出金	40,070,000	0	0.0
5 保健事業費	245,974,000	200,000	0.1
6 基金積立金	867,000	106,766	12.3
7 公債費	1,000	0	0.0
8 諸支出金	21,201,000	9,712,050	45.8
9 予備費	20,000,000	0	0.0
合計	103,111,038,000	42,880,203,262	41.6

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

- ①公有財産 平成29年9月30日現在所有なし
- ②基金 平成29年9月30日現在高
療養給付費等準備基金 2,474,344,939円

(2) 地方債 平成29年9月30日現在借入なし

(3) 一時借入金 平成29年9月30日現在借入なし

3 平成28年度の決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成28年度における一般会計の歳入及び歳出の決算規模は、第1表の1及び第1表の2のとおりである。

(第1表の1) 前年度決算額との比較 (単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	479,119,747	456,420,962	22,698,785	5.0
歳出	442,746,446	441,508,834	1,237,612	0.3
差引	36,373,301	14,912,128	21,461,173	143.9

(第1表の2) 予算現額との比較 (単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	479,109,000	479,119,747	△10,747	100.0
歳出	479,109,000	442,746,446	36,362,554	92.4

平成28年度の決算額は、歳入4億7,911万9,747円、歳出4億4,274万6,446円で、歳入歳出差引額は3,637万3,301円となった。この差引額は、剰余金として平成29年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ、100.0%と92.4%となった。

②歳入の状況

平成28年度の歳入決算額は、4億7,911万9,747円で、前年度決算額と比較して2,269万8,785円、率にして5.0%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億6,394万6,642円、繰越金が1,491万2,128円となっている。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、事務局を運営する費用のため市町に共通経費として負担を求める市町負担金が2,703万1,400円増額したことによるものである。

(第2表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	463,946,642	96.9	436,915,242	27,031,400	6.2
2 国庫支出金	212,000	0.0	318,000	△106,000	△33.3
4 繰越金	14,912,128	3.1	19,148,988	△4,236,860	△22.1
5 諸収入	48,977	0.0	38,732	10,245	26.5
合 計	479,119,747	100.0	456,420,962	22,698,785	5.0

(第2表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比 較C-A
1 分担金及び負担金	463,946,000	463,946,642	463,946,642	0	642
2 国庫支出金	193,000	212,000	212,000	0	19,000
4 繰越金	14,913,000	14,912,128	14,912,128	0	△872
5 諸収入	57,000	48,977	48,977	0	△8,023
合 計	479,109,000	479,119,747	479,119,747	0	10,747

③歳出の状況

平成28年度の歳出決算額は、4億4,274万6,446円で、前年度決算額と比較して123万7,612円、率にして0.3%増加した。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が72万1,638円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億4,913万7,459円、特別会計への繰出金である民生費が2億7,797万5,221円、市町への償還金である諸支出金が1,491万2,128円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、市町への償還金が423万6,860円、総務費が184万2,352円それぞれ減額したが、特別会計への繰出金が767万6,924円増額したためである。

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	721,638	0.2	1,081,738	△360,100	△33.3
2 総務費	149,137,459	33.7	150,979,811	△1,842,352	△1.2
3 民生費	277,975,221	62.8	270,298,297	7,676,924	2.8
4 諸支出金	14,912,128	3.3	19,148,988	△4,236,860	△22.1
5 予備費	0	0	0	0	—
合 計	442,746,446	100.0	441,508,834	1,237,612	0.3

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,526,000	721,638	804,362	47.3
2 総務費	160,516,000	149,137,459	11,378,541	92.9
3 民生費	300,154,000	277,975,221	22,178,779	92.6
4 諸支出金	14,913,000	14,912,128	872	100.0
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	479,109,000	442,746,446	36,362,554	92.4

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成28年度における特別会計の歳入及び歳出の決算規模は、第4表の1及び第4表の2のとおりである。

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	103,086,717,775	103,987,600,168	△900,882,393	△0.9
歳出	101,190,626,118	101,587,674,981	△397,048,863	△0.4
差引	1,896,091,657	2,399,925,187	△503,833,530	△21.0

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	102,930,996,000	103,086,717,775	△155,721,775	100.2
歳出	102,930,996,000	101,190,626,118	1,740,369,882	98.3

平成28年度の決算額は、歳入1,030億8,671万7,775円、歳出1,011億9,062万6,118円で、歳入歳出差引額は18億9,609万1,657円となった。この差引額は、剰余金として平成29年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ100.2%と98.3%となった。

②歳入の状況

平成28年度の歳入決算の総額は、1,030億8,671万7,775円で、前年度決算額と比較して9億88万2,393円、率にして0.9%の減となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が160億3,235万3,896円、国庫支出金が350億5,324万1,429円、県支出金が83億5,976万5,204円、支払基金交付金が405億2,877万1,000円、繰入金が5億1,751万1円、繰越金が23億9,992万5,187円となっている。諸収入における収入未済額は77万3,672円、不納欠損額は48万2,676円で雑入（医療費差額返納金）において発生している。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、国の療養給付費負担金、及び支払基金からの交付金が減額したことによるものである。

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	16,032,353,896	15.6	15,848,802,709	183,551,187	1.2
2 国庫支出金	35,053,241,429	34.0	35,492,900,201	△439,658,772	△1.2
3 県支出金	8,359,765,204	8.1	8,270,261,641	89,503,563	1.1
4 支払基金交付金	40,528,771,000	39.3	40,782,429,000	△253,658,000	△0.6
5 特別高額医療費 共同事業交付金	21,787,859	0.0	22,096,052	△308,193	△1.4
6 財産収入	479,505	0.0	2,266,700	△1,787,195	△78.8
8 繰入金	517,510,001	0.5	446,164,779	71,345,222	16.0
9 繰越金	2,399,925,187	2.3	2,956,954,870	△557,029,683	△18.8
1 1 諸収入	172,883,694	0.2	165,724,216	7,159,478	4.3
合計	103,086,717,775	100.0	103,987,600,168	△900,882,393	△0.9

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

款	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	不納欠 損額	収入 未済額	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	16,151,196,000	16,032,353,896	16,032,353,896	0	0	△118,842,104
2 国庫支出金	33,958,792,000	35,053,241,429	35,053,241,429	0	0	1,094,449,429
3 県支出金	8,376,564,000	8,359,765,204	8,359,765,204	0	0	△16,798,796
4 支払基金交付金	40,615,904,000	40,528,771,000	40,528,771,000	0	0	△87,133,000
5 特別高額医療費 共同事業交付金	20,402,000	21,787,859	21,787,859	0	0	1,385,859
6 財産収入	2,019,000	479,505	479,505	0	0	△1,539,495
8 繰入金	1,406,188,000	517,510,001	517,510,001	0	0	△888,677,999
9 繰越金	2,399,926,000	2,399,925,187	2,399,925,187	0	0	△813
1 1 諸収入	5,000	174,140,042	172,883,694	482,676	773,672	172,878,694
合計	102,930,996,000	103,087,974,123	103,086,717,775	482,676	773,672	155,721,775

③歳出の状況

平成28年度の歳出決算の総額は、1,011億9,062万6,118円で、前年度決算額と比較して3億9,704万8,863円、率にして0.4%の減となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億2,266万9,045円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が979億9,400万3,928円、県

財政安定化基金への広域連合負担分（負担割合3分の1）である拠出金が3,986万2,432円、市町が実施する健康診査事業への補助金等の保健事業費が1億7,893万520円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が26億2,592万729円となった。また、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、基金積立金が減額となったことによるものである。

保健事業費の執行率が低かった原因は、健康診査の受診者が当初の見込みより少なかったためである。

（第6表の1） 前年度決算額との比較

（単位：円、％）

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	322,669,045	0.4	318,391,742	4,277,303	1.3
2 保険給付費	97,994,003,928	96.8	97,997,041,117	△3,037,189	0.0
3 県財政安定化 基金拠出金	39,862,432	0.0	43,835,077	△3,972,645	△9.1
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	28,759,959	0.0	26,585,135	2,174,824	8.2
5 保健事業費	178,930,520	0.2	173,588,400	5,342,120	3.1
6 基金積立金	479,505	0.0	157,112,563	△156,633,058	△99.7
7 公債費	0	0.0	0	0	0.0
8 諸支出金	2,625,920,729	2.6	2,871,120,947	△245,200,218	△8.5
9 予備費	0	0.0	0	0	0.0
合 計	101,190,626,118	100.0	101,587,674,981	△397,048,863	△0.4

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	356,704,000	322,669,045	34,034,955	90.5
2 保険給付費	99,610,379,000	97,994,003,928	1,616,375,072	98.4
3 県財政安定化 基金拠出金	39,863,000	39,862,432	568	100.0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	31,158,000	28,759,959	2,398,041	92.3
5 保健事業費	244,942,000	178,930,520	66,011,480	73.1
6 基金積立金	2,019,000	479,505	1,539,495	23.7
7 公債費	1,000	0	1,000	0
8 諸支出金	2,625,930,000	2,625,920,729	9,271	100.0
9 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0
合 計	102,930,996,000	101,190,626,118	1,740,369,882	98.3